

令和元年第2回定例会一般質問 会議録（抜粋・概略）

令和元年6月26日

6 まちごと・丸ごと防災体制の実現に向けて
(2) 実現に向けたリーダーシップについて

○松本議員

～略～

最後に実現に向けたリーダーシップについてですが、まず大阪北部地震等の教訓対応での地域防災計画の修正状況についてお聞かせください。以上です。

～略～

○嶋野議長

総務部長

○井口総務部長

「地域防災計画の改訂作業状況についてのご質問にお答えいたします。

この改訂については、大きく2つの工程に分けて作業を進めております。まず一つ目の工程としまして、淀川の想定浸水深の見直しのほか、気象警報等の発表基準の変更や要配慮者利用施設リストの追加などの修正作業を行います。これにつきましては概ね作業は終了し、先月、大阪府と1回目の内容確認の協議を行ったところでございます。

次に2つめの工程としまして、大阪北部地震の経験を踏まえた地域防災計画の修正でございまして、すでに昨年度、庁内の検証作業を通じて、初動体制や情報連携、班体制の見直しなどの課題が明らかになりましたので、これらの対策を盛り込む形で、本年度末頃には改訂版をリリースする予定でございまして。

～略～

○嶋野議長

松本議員。

○松本議員

～略～

最後に、実現に向けたリーダーシップについてですが、地域防災計画の修正状況については理解しました。

この修正には計画と関わる教育委員会、消防、保健福祉、他部署等との計画も整合性を図る必要がありますが、それについてどう検討されているのか、お聞かせ下さい。

○嶋野議長
総務部長

○井口総務部長

本市の各防災関係計画については、地域防災計画以外にも小中学校ごとの避難計画などがございますが、やはりそうではございますが、地域防災計画が災害関連計画の中心をなすものでございます。

地域防災計画と他の計画の整合性につきましては、まずは、地域防災計画の修正作業を先に進め、これが完了した後に、各個別計画について必要に応じて各所管課に修正を働きかける予定でございます。

○嶋野議長
松本議員。

○松本議員

是非、しっかりと各計画、マニュアルを連動させるよう要望致します。

また熊本県宇土市では、地震発生後、各部署が能動的に動き、全庁体制で実施できたとお聞きしました。本市として各部署を能動的に動かすための施策をどうされようとしているのか、お聞かせ下さい。

○嶋野議長
総務部長

○井口総務部長

熊本県宇土市では地震により市庁舎内に入ることができなくなり、OA機器や書類などが持ちだせず、電話回線も確保できない状況下での災害対応をされたと同っております。

また、災害対策本部からの指示もままならず、初動期は大変混乱されたそうであります。このような状況では、職員の一人ひとりが災害時の行動をしっかりと把握し、迅速的確に、そして臨機応変に初動対応できるかが何より重要でございます。このために常日頃から訓練を積み重ねておくことが必要不可欠でございます。

これらを踏まえ、本市はこの5月に班長会議を開催し、新規採用職員や人事異動後間もない職員に対して災害時の役割を確認するよう各班長に依頼をするとともに、行動マニュアルの作成も働きかけたところでございます。

また、職員の防災意識をさらに高め、災害時の的確迅速な行動に結びつけられるよう、初動対応の手順確認訓練を今後実施するなど、スキルの向上に努めてまいります。

○嶋野議長

松本議員。

○松本議員

しっかりと計画し実行されるよう要望致します。

そのうえで、まちごと・丸ごと防災体制の実現には、役所での改革はもとより、地域、企業の協力も必要で、目標に向かって困難を克服し、物事を成し遂げるには、市長を含めた理事者方のリーダーシップが不可欠であることは言うまでもありません。

そこで、市長はまちごと・丸ごと防災体制実現へのリーダーシップをどう発揮されるのか、お聞かせ下さい。

○嶋野議長

森山市長

○森山市長

松本議員さんの質問にお答えします。

私は、今年で市長になって、15年目を迎えております。毎年いろんな施策を打ち出しておりますけれども、まあ幾つか、毎年言っている言葉がありますが、そのうちの一つが、安全・安心でございます。

そういった中、今年度は昨年大きな災害を受けまして、そのことを殊更に強調したわけでありまして、それがまちごと・丸ごと防災という言葉になったわけであります。

色々と担当から説明がありましたが本年度も皆さんの防災意識の共有といいますか、一方では、防災力の向上を目指してしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

5月1日以降、同じような話をよくしておりますけれども、元号が平成から令和に変わりました。平成は、色んな課題を残したまま、過ぎ去ってしまいました。色んな課題の中の一つ、これは人間が犯したというか、自然破壊、これによる地球温暖化が重要な一つの課題と思っております。このことが大なり小なり様々な災害につながっていると私は思っております。

そういう意味で、令和の時代、これからは、今、廃プラの問題などの問題になっていきますが、一方では環境問題、こういうことにもしっかりと目を向け、そして一方では、人間では止めることのできない災害が起こった時には、よりこの被害を小さくするための心の備え、そして訓練、これをしっかりとやっていきたいと考えております。

ところで、昨年、大きな地震、そして台風、また洪水等々と様々な災害に見舞われました。一瞬、緊張感が走りました。こんなはずではなかったのにといった事が多々あったと思います。大阪はといいますか、特に北大阪は紀伊半島、四国、そして淡路島のおかげと言ったら怒られますけれども、これが壁になり、長い間、災害らしい災害はありませんでした。そういうことでは、これはいいことなんですけれども一方で、言葉は良くないけどどれも平和ぼけになっていたかもわかりません。

この間、全国あちこちで起こる災害ごとに、心の備え、また訓練の大切さを説いてきたつもりであったんですけども、いざこの大きな災害を目の当たりにした時、自然の怖さといいますか、そしてこの取り組み、力の限り、これを感じたことは事実でございます。そして、そんな中ではありますが、何とか目の前の復旧、復興にたどり着けた、これがやはり地域の皆様の力といいますか、地域力の差というのもこれは大きな一つの課題にもなってくるなど実感いたしました。

そういう意味では、地域の皆さんも役所だけに任せとてはあかんぞ、とはおっしゃっておりませんが、もちろん、役所が頑張らんといかんけれども、我々もできることで頑張ろうやないかと、といった自助・共助、こういった言葉が、頻繁に出るようになってまいりました。

そういう意味では、地域力、日頃のつながり、これが災害時に大きくものをいうことも実感したわけであります。

本年度もさきほどらい、担当から色んな施策の説明をいたしましたけれども、防災士資格取得の補助金制度も作りましたが、まずは私が先陣をきってこの資格取得に手続きをしたところでございます。

今後、先頭に立って、より安全・安心のまちづくりにしっかりとまちごと・丸ごと防災が言葉だけに終わらないように、しっかりとリーダーシップを発揮したいと思っております。以上です。

○嶋野議長
松本議員。

○松本議員

非常に力強いお言葉、ありがとうございます。

まさに市長の仰るとおり防災の改革は、今やらねばならぬことであります。油断の犠牲者は市民であります。

是非、理事者、皆様方のリーダーシップを一層発揮されるよう要望致します。会派としても引き続き提言し、まちごと・丸ごと防災体制の実現に全力で貢献をしております。

以上で質問を終わります。